

注) この RCT は日本東洋医学会 EBM 委員会がその質を保証したものではありません

13. 筋骨格・結合組織の疾患

文献

王曉東, 吉田健, 本田健一, ほか. 廃用症候群患者に対する十全大補湯, 八味地黄丸併用投与による免疫調節作用に関する検討. 漢方医学 2006; 30: 65-7. 医中誌 Web ID: 2006283912

1. 目的

廃用症候群患者に対する十全大補湯, 八味地黄丸併用の有効性

2. 研究デザイン

ランダム化比較試験 (封筒法) (RCT-envelope)

3. セッティング

市中病院 1 施設

4. 参加者

長期臥床、経管栄養中患者

5. 介入

Arm 1: ツムラ十全大補湯エキス顆粒 2.5g とツムラ八味地黄丸エキス顆粒 2.5g それぞれ
1日2回 13名 24週間

Arm 2: 非漢方薬投与 15名

6. 主なアウトカム評価項目

検査項目: ヘモグラム、検尿は 0, 4, 8, 12, 16, 20, 24 週

CD4, CD8, CD4/CD8, 好中球貪食能、免疫グロブリン (IgM, IgG, IgA) 0, 12, 24 週

7. 主な結果

CD4/CD8、CD4 は Arm 1 が Arm 2 より 12 週で有意に上昇したが、24 週では差が認められなかった。好中球貪食能、免疫グロブリンなどは変化なし。

8. 結論

CD4/CD8、CD4 が投与後 12 週で上昇例が多い。

9. 漢方的考察

なし

10. 論文中の安全性評価

記載なし

11. Abstractor のコメント

2 種類の漢方薬の併用による免疫調節作用をリンパ球の表面マーカー CD4, CD8 で検討した論文である。12 週では CD4/CD8、CD4 の上昇があるが 24 週で元に戻る点は、免疫状態が元に戻ったのか調節されたのかを評価するデザインが必要である。

12. Abstractor and date

並木隆雄 2009.3.12, 2010.6.1